

令和3年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

別府大学動物実験委員会

令和4年 3月14日

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

別府大学動物実験に関する規則（平成19年4月より施行）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

機関内規程が適正に定められている。

4) 改善の方針

該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

別府大学動物実験に関する規則（平成19年4月より施行）

動物実験委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験委員会が適正に運営されている。

4) 改善の方針

該当せず。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

別府大学動物実験に関する規則（平成19年4月より施行）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験の実施体制が定められ、実験計画の立案から審査・手続き等に関して適切に運営されていると判断される。

4) 改善の方針

該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

別府大学動物実験に関する規則（平成19年4月より施行）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

該当する遺伝子組換え動物実験や感染動物実験等は実施していない。

4) 改善の方針

該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

別府大学動物実験に関する規則（平成19年4月より施行）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験規則が適正に定められている。

4) 改善の方針

該当せず。

6. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特記事項なし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

別府大学動物実験に関する規則（平成19年4月より施行）

動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

別府大学動物実験に関する規則に基づき以下の事項について審議し、学長に報告または助言している。

1. 動物実験計画が法令等および本規程に適合していること。
2. 動物実験計画の実施の結果に関すること。
3. その他動物実験などの適正な実施に関し必要な事項

自己点検の対象とした資料（動物実験委員会議事録）の示すとおり動物実験委員会は適正に機能している。

4) 改善の方針

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書

動物実験結果報告書

自己点検報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。

4) 改善の方針

該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする。)

動物実験計画書

動物実験結果報告書

自己点検報告書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

現在、該当する遺伝子組換え動物実験や感染動物実験等は実施していない。

4) 改善の方針

該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適正か? 飼養保管の飼養保管手順書等はより適正に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

自己点検報告書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

飼養保管が適正に実施されている。

4) 改善の方針

該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

自己点検報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

本年度も、おおむね基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されていた。しかし、一部、次の事案が生じた。動物実験が実施されていなかった時期に動物飼育室内にシバンムシと思われる虫が大量発生した為、発生原因と思われる餌残渣の廃棄、飼育室内の殺虫剤による虫の駆除、壁や架台及びフィルターの清掃を行った。処置後は虫の発生は見られず、その後の動物実験への影響はなかった。

4) 改善の方針

「6. 教育訓練の実施」の中で、関係者に対して今回の事案等も踏まえて動物実験室の維持管理の重要性を説明し、動物実験の開始から終了した後までの動物飼育室内の維持管理体制を徹底する。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・実験・実習事前総合演習及び基礎栄養学実験のシラバス
- ・自己点検報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

- ・動物実験の目的や3R等の講義及び動物実験実施時の作業説明等の確認
- ・動物実験実施者への個別の学生指導（教育訓練）状況の聞き取り

4) 改善の方針

次年度も教育訓練を継続し、特に、初めて動物実験を行う学生を中心に実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対して実施する予定である。特に、今年度の動物実験室の虫発生の事案などを説明し、これらの問題が生じないよう動物実験室の維持管理の重要性を教育していく。

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果

- 基本方針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会報告書

別府大学ホームページ内 動物実験委員会のページ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

情報公開をホームページにて平成23年度より実施している。

4) 改善の方針

該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当せず。